



愛情と信頼に満ちた明るく活気のある学校 地域に支えられ子どもたちと保護者に愛される学校

さきばるだより

創立116年 奄美市立崎原小中学校 学校だより 令和6年6月号

令和6年6月30日発行

夢なき者に…

崎原小中学校 校長 鑑 謙治

夢なき者に理想なし 理想なき者に計画なし
計画なき者に実行なし 実行なき者に成功なし
故に 夢なき者に成功なし

吉田 松陰



私の好きな言葉です。私は26歳から青少年赤十字活動を行っています。これは、赤十字活動の本質である「人道」を中心に小学校から高校生にかけて学んでいく活動です。その活動の態度目標に「気づき、考え、実行する」という言葉があります。私が行っているほとんどの活動は、この赤十字の態度目標に沿って行っています。

「夢をもつ」ということは、おそらく誰もが経験することだと思いますし、多くの人が学校の先生から「夢をもちなさい」と言われた経験があると思います。私も小学6年生のときに担任に言われたことを覚えています。特にその時には夢はなかったのですが、漠然と調理師か建築家になりたいと思っていたことを覚えています。しかし、その後修学旅行に行き、担任の先生に「先生！もう一回修学旅行に行きたいです！」という担任は、「学校の先生になれば何度でも行けるぞ！」と。そこで学校の先生になりたいという夢ができたのですが、そんな気持ちは長くは続かず、いつの間にか忘れていました。ところが中3の始めに、高校進学を考える時期になったとき、自分の気持ちは工業系の高校に進学したいと思っていました。そんなある日、中学校の体育の先生が声をかけてくれました。高校はどこに行くのかと聞かれ、工業系に行くつもりですと答えると、その先生は私に「何になりたいんだ？」と聞いてきました。そこで建築家か調理師と答えると、「他になりたいものはないのか」と。そこで、小6のときに漠然と思っていた「学校の先生になりたい」という思いを伝えました。するとその先生はよくに言ったのです。「いいか鑑。建築家は家を作る。調理師は料理を作る。教師は人を作る。どれが1番魅力的だと思う？」その日から私は教師を目指すようになりました。その後は結局一度もぶれることなく教師という夢を追いつけています。

最近、「ブラック企業」ともいわれる教師という職業です。確かに残業代もつきませんし、昔に比べ、教師の仕事は倍ほどに膨れ上がっています。精神的に辛い仕事でもあります。しかしながら、教師はやりがいのある職業です。子供たちが毎日成長する姿を見られますし、子供たちが何かできたときの笑顔も毎日見られます。そんな時に教師を続けていきたいと思うのです。

私にとっての理想は、子供たちの成長です。しかし、そのためには、教師も保護者も地域も1つになって子供たちを支えていくことが大切です。ですから、様々なイベントを計画し、実行するのです。子供たちが望んでいることに気づき、子供たちのために考え、実行する。それが私の理念です。

吉田松陰は、若くで処刑されてしまっていますが、彼が育てた塾生たちは、その歴史を動かす人材となっていきました。私も今後の教育界を動かす子供たち、教師、地域・保護者の皆様を育てていきたいと思ひます。崎原の発展が、今後の奄美の、そして鹿児島県の発展につながってほしいと心から願ひます。

最後に吉田松陰の言葉で、私が最も大切にしている言葉を紹介したいと思います。

「至誠にして動かざる者は、未だこれあらざるなり」(誠の心で接すれば、動かなかった人は今まで誰もいない)

小学校宿泊学習

6月4～5日は、小学校の宿泊学習が行われました。今年も根根小、小湊小、大川小、芦花部小、崎原小の5校合同で奄美少年自然の家で行われました。SUP体験や七宝焼き作り、野外炊さん活動などを行いました。1泊2日でしたが、他校の子供たちと仲良くなり、一人一人が笑顔あふれる活動になりました。野外炊さんではカレーを作りましたが、どのグループもいいカレーができ、とても満足した表情でした。また、今後5校の子供たちでいろんな活動に取り組んでいきたいと思ひます。



移動講座への御協力ありがとうございました

6月14日は、本校で鹿児島県総合教育センターの移動講座が行われ、複式教育の授業を安田先生が行いました。手本となるような授業ができるということで、今回安田先生に白羽の矢が立ったわけです。当日は23人の参加者が崎原小学校に来てくださいました。5・6年生の児童たちも本当に素晴らしい発想や考えをもつことができ、その後行われた授業研究でも安田先生の指導力の高さに感嘆の声が聞かれました。

また、総合教育センターの峯元先生からもお話をいただきましたが、「安田先生の授業だけでなく、保護者・地域の方々も駐車場整理や音響の設置など多大なる御協力をいただき感謝しております。」との言葉をいただきました。来年度は、地区の研究公開授業を行う予定です。現在研究を行っております。手前味噌ではありますが、とても素晴らしく、今後の奄美の教育に役立つ内容になっています。また御協力いただけるとありがたいです。



令和6年度児童生徒会スローガン

切磋琢磨

—ひとりじゃない。

みんな誰かの応援団！—

ふるさと体験留学

6/25～27はふるさと体験留学が行われ、奄美市内の小中学校から12人の体験留学生在が崎原小学校に来てくれました。子供たちは複式授業を体験しただけでなく、1日目は博物館の平城先生と野外観察を行い、バーバートカゲやオオシマトカゲ実際に見る体験をしました。2日目はタナガとり。保護者・地域の皆さんに協力していただきながら50匹以上のタナガをとることができました。3日目は柿本さんに来ていただき鶏飯作りを体験しました。タナガとりの様子は南海日日、奄美新聞にも掲載されましたので、機会があればご覧になってみてください。



7月8月の主な行事

- 2日(火) 避難訓練(不審者対応)
- 3日(水) ユニクロ出前授業
- 4日(木) 食育授業
- 5日(金) 授業参観・PTA・学校保健委員会
- 9日(火) 崎原活性化委員会・学校評議員会
- 19日(金) 終業式
- 22日(月) プール開放(～26日)
- 8月1日(木) 出校日
- 8月5日(月) 奄美市中学生ひかり会議
- 8月21日(水) 出校日
- 8月25日(日) PTA奉仕作業

